



～笑顔とやさしさいっぱい田井小学校～

学校評価だより

令和7年度前期

田井小学校

R7. 9. 12

田井小学校は「自分で考え、進んで活動に取り組む子の育成」「自他を認め、共に高め合う子の育成」「自分の健康を考え、元気に生活する子の育成」を重点目標に教育活動を進めています。前期学校評価の結果と今後の取組の概要についてお知らせします。



学校評価について

教育目標の具現化のために、知育・徳育・体育部会で教育課題を明確にしてその解決を図っています。学校職員が児童・保護者の皆様を対象に行うアンケートや学力・体力テスト等や日々の児童の様子から実態を分析し、改善策を考えます。学校評価計画に基づいた、目指す子どもの姿や、子どもが目標に向かうための方策について、職員が子どもたちと共有し、活動や取組への意識を高めていくための「レベルアップ朝会」を各部会で実施しています。

9月11日（木）に行われた学校運営協議会では、協議会委員の皆様これまでの取組の進捗状況について報告し、説明しました。協議会委員の皆様からは、学校の取組と児童の頑張りを認めていただくとともに、読解力の向上やメディアとの関わり方等について、ご助言・ご意見をいただきました。いただいたご助言やご意見を受け、10月の全校朝会では、学校評価結果について子どもたちに分かりやすく説明します。その後、各学級の実態に応じた指導を行って課題解決のポイントを確認し、目標達成に向けて子どもたちの意識を高めていきます。



6月 レベルアップ朝会【体育部会】
[メディアを使わない遊びをやってみよう]

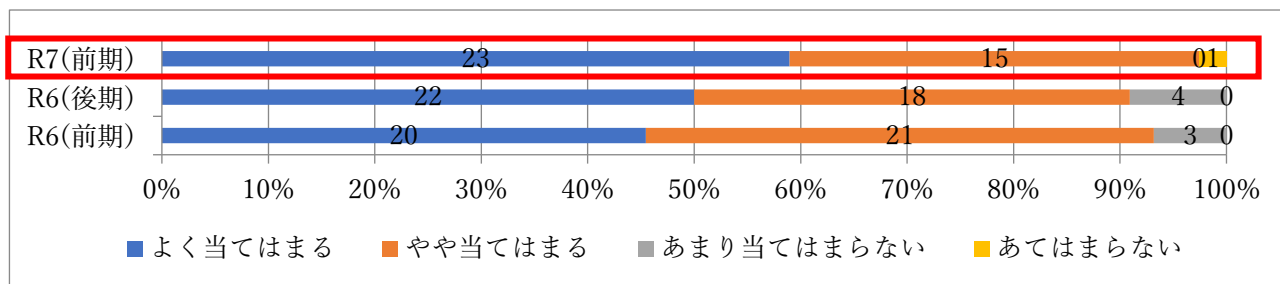


9月 第2回学校運営協議会
[学校評価についての熟議]

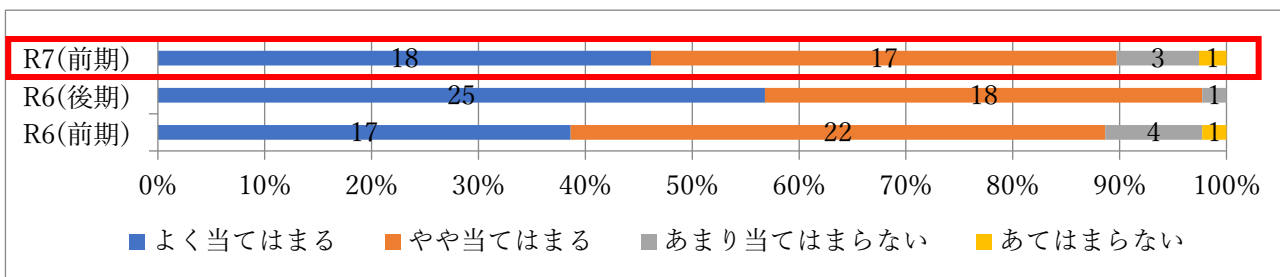
自分で考え、進んで活動に取り組む子

◆目指す姿「よく考え、対話をする子」について

【児童アンケート】～友達に自分の考えを分かりやすく説明したり、自分が分かるまで質問したりしていますか～



【児童アンケート】～対話することで自分の考えを広げたり、深めたりできましたか～



上段のグラフ「自分の考えを分かりやすく説明する。分かるまで質問する」は、97.4%、下段のグラフ「対話により、自分の考えを広げる。深める」は、89.7%の肯定的評価となり、上昇が見られます。

今年度は、独立行政法人教職員支援機構が提示する「対話的に学ぶ具体的な場面を表すピクトグラム」を用いて、学習過程の質的改善を図っています。これをレベルアップ朝会で紹介することで、子どもたちが少しずつ意識して取り組むようになってきています。2学期に各学級で実施する研究授業において、対話についてさらに子どもたちに意識させ、質の高い対話ができるようにしていきます。



【知育部会】6月レベルアップ朝会
[対話を深めていくために]



◆目指す姿「基礎基本の学習内容や方法を身に付け、進んで学ぶ子」について

今年度もICTサポーターを講師に、職員対象の講習会を開き、個に応じた課題の出し方や、宿題の確認についてなどの便利な機能についての共通理解を図っています。タブレット端末を活用し、「ドリルパーク」を用いた学習への取組活用は定着してきました。子どもが自分に合った学習方法を身に付けていくことができるよう、ICTを利活用していきます。



【知育部会】ICTサポーターによる指導
[タブレット端末の使い方]

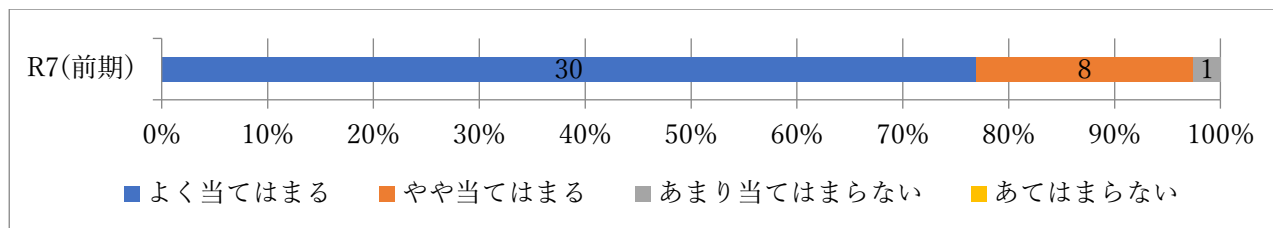
☆後期の取組

- 対話を生む手立てをさらに工夫し、自分の考えがより広がり、深まるように促す。
- 主体的・対話的で深い学びを目指した、各学級における研究授業を実践する。
- ドリルパーク等を利用し、家庭と連携した学習習慣の確立を目指す。

自他を認め、共に高め合う子

◆目指す姿「自分に自信をもつ子」について

【児童アンケート】～学級の活動や委員会活動、行事等で自分の役割を一生懸命にがんばりましたか～



肯定的評価が97.4%と、高い値となりました。今年度も、友達のよいところやきらきらと輝いた場面を木の葉に見立てたカードに書き、掲示していく「きらきら すてきの木」の活動に取り組んでいます。2学期は、持久走記録会、学習発表会、みつば祭りなどの行事を通し、子どもたち一人一人をみんなで認め、それぞれに伝えていく活動や、友達同士で認め合う活動を進めていきます。

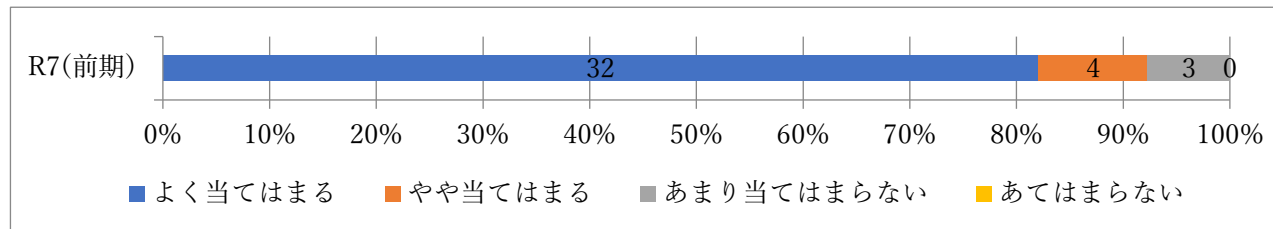
そのために、学級全体、そして子ども一人一人に「めあて設定と振り返り」の時間を確保し、子どもたちが集団として、そして個人としての成長を実感できるようにします。



【徳育部会】きらきらすてきの木
[友達のよいところ見つけ活動]

◆目指す姿「友達と共に成長する子」について

【児童アンケート】～あいさつ運動やなかよしデー、児童会の活動、学級の活動に友達と一緒に進んで取り組みましたか～



92.3%の高い肯定的評価となりました。あいさつ運動や各委員会活動、なかよしデー等の活動を通し、友達と一緒に取り組んだり、清掃、給食、帰りの会等で、友達のよかったところを伝える活動を行ったりしたことが高評価につながったと思います。後期は、子どもたちが学級や個人の枠を超え、縦のつながりの中で成長を実感できるよう、なかよしフレンズ班によるなかよしデーを充実させていきます。引き続き、様々な活動において、目標が達成できたかどうかをグループ内でしっかりと話し合うようにするなど、振り返りを大切にすることで、なかよしフレンズ班で遊ぶ良さや活動の意義について子どもたちと確認し、共有していきます。



【徳育部会】なかよしフレンズ班活動
[なかよし遠足についての話し合い]

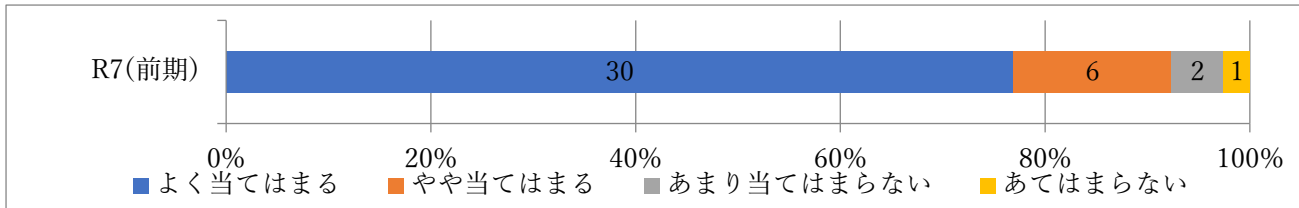
☆後期の取組

- 「きらきらウイーク」等の取組により、一人一人の輝いているところを見つけ合う。
- 一人一人が役割のある活動に取り組むようにし、各活動の振り返りを大切にする。
- 学年を超えた友だちと遊ぶ良さや意義を全校で再確認する。

自分の健康を考え、元気に生活する子

◆目指す姿「楽しく元気に体を動かす子」について

【児童アンケート】～運動のめあてを立て、めあてに向けて運動しましたか（体力テストの中の2種目について）～



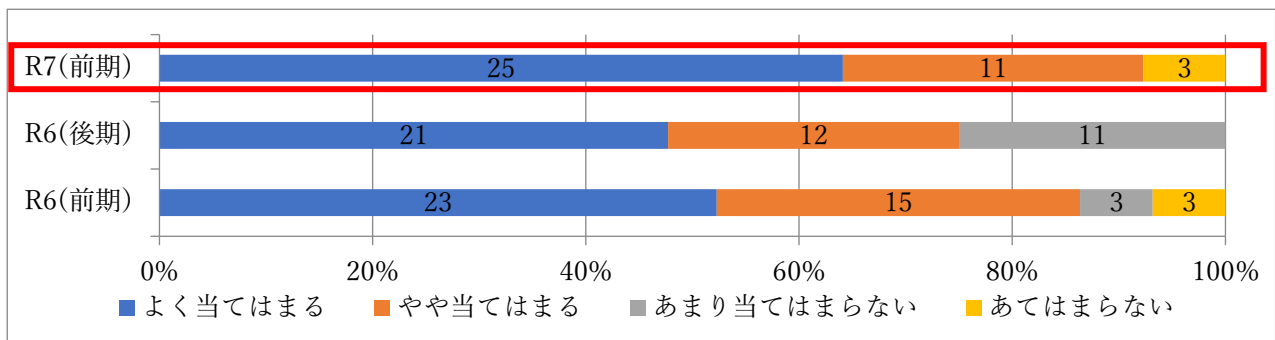
昨年度は、「体育の授業やゴーゴータイム、休み時間に、進んで体を動かしていますか」という項目でしたが、今年度は、「前期：体力テストの中から2種目を選んで自己評価」、「後期：持久走と縄跳びについて自己評価」と、子どもたちがより自己評価しやすくなるように、内容を絞りました。その結果、肯定的評価をした子どもは、全体の92.3%と高い値となりました。子ども一人一人が、自分が特に頑張る種目を決め、ゴーゴータイムでコツをつかんで自信をもって取り組むことができた成果だと考えます。これからは、10月の持久走記録会に向け、全校で元気に取り組んでいきます。



【体育部会】ゴーゴータイム
[体力テストに向けて]

◆目指す姿「よりよい生活習慣づくりに励む子」について

【児童アンケート】～メディア依存にならないように、メディアとの付き合い方に気を付けましたか～



92.3%の子どもが肯定的な評価をしています。令和6年度後期の75%と比較して、値が大きく向上しました。この結果は、昨年度の「学校評価アドバイスの会」における指導者からの指導「メディア利用のルールについて、【時間】だけに捉われるのではなく、【①時間帯、②利用場所、③時間】を意識する」ことに各ご家庭で取り組んでいただいた成果の表れです。しかし、見附市共通児童アンケート（別紙参照）では、「SNS利用2時間以内」の項目の肯定的評価が、91%から74%へと低下しました。また、保護者アンケートでは、「起床時刻朝7時前」、「就寝時刻夜10時前」の項目が共に低下しています。生活習慣を改善するためには、メディアとの付き合い方について「元気アップ週間」だけでなく、各ご家庭でルールを決め、通年で取り組んでいただくことが必要です。家庭と学校のより一層の連携にご協力ください。



【体育部会】元気アップ教室
[よりよい生活習慣を目指して]

☆後期の取組

- 体育授業では鉄棒運動や持久走と縄跳びに重点を置き、ワークシートやICTを有効活用し、運動量の確保と段階的な指導で一人一人に達成感を味わえるようにする。
- 家庭と学校との連携を深め、メディアとの付き合い方について粘り強く働き掛けていく。